

リサイクルパターンについて

パターンレーベルの商品お届け用封筒は、ソーイングパターンとして再利用して頂けるようになりました。こちらの写真付きレシピで作り方を詳しく解説しています。パターンレーベルの型紙の特徴である簡単で綺麗に仕上がる縫い代付き型紙の特徴をお試し頂けます。

材料

- * 薄地～中肉地 ブロード、キャンパス、ツイルなど。
110cm巾 0.4M
- * コード(ひも) 5mm～13mm 35cm×2本
- * 60番スパン糸

※ コーティング生地は布端がほつれないので縫い代の処理はいりません。(ミシンの滑りが悪い場合はテフロン押さえを使うとスムーズに縫えます。)



01 カッターやはさみで封筒を開きます。



02 型紙を切り抜きます。



03 布地の上に型紙を重ねてピンでとめ、布地を動かさないように型紙の外側ギリギリで布地を裁断します。

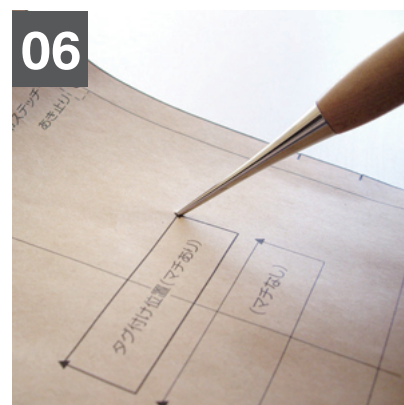


04 ノッチ(短い線)の位置に型紙も一緒に切り込みをいれます。

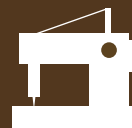


05 ●印に目打ちを刺して小さな穴をあけます。

★ポイント
ほつれやすい素材の場合はチャコペンなどで印を付けます。



06 タグをつける場合は▲印も目打ちで刺して穴をあけます。



07

ロックミシンの場合は
表を上側にして縫う

両端をジグザグミシン(ロックミシン)でかがります。

★ポイント

型紙を布地から外したら、ミシンの側に置いておきます。型紙にはあき止りやステッチの位置など細かく書かれているので確認しながら作業を進めるのに便利です。



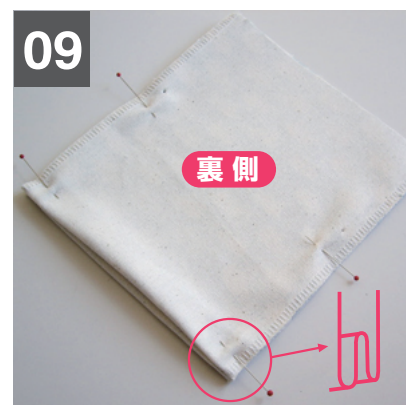
08

表側

テープで固定

タグつけ位置にタグを重ね、ピンで固定し、四方を縫います。ピスネームを付ける場合はテープで仮どめておきます。

※タグの付け方はタグの商品詳細ページでご紹介しております。

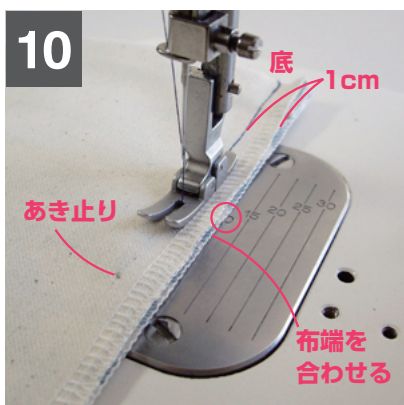


09

裏側

中表に二つ折りして両端をピンでとめます。底にマチを作る場合は裾の縫い代を図の様に内側に折り込みます。

※底にマチを作らない場合は二つ折りのみ。



10

底 1cm

あき止り

布端を
合わせる

あき止りから底まで1cmの縫い代で縫い合せます。(始めと終わりは返し縫い)



11

マグネット定規

裏側

底マチに
なります。

初心者の方にはマグネット定規がおすすめです。縫い代幅にあわせて定規を置き、布端をあわせて縫うことができます。



12

1cm 巾

裏側

1cm 巾

両端を1cmの縫い代で縫ったところ。

○の箇所は返し縫い



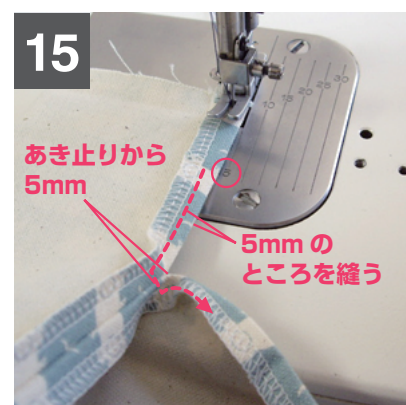
13

両端の縫い代をアイロンで割ります。写真のように片方ずつ折り目をつけます。



14

ひも通し口をアイロンで三つ折りします。

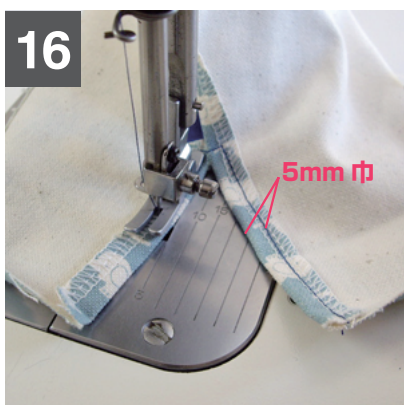
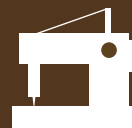


15

あき止りから
5mm

5mmの
ところを縫う

折り目をひろげて5mmのステッチで縫い代をおさえます。



16 5mm巾でコの字型に縫います。
(型紙のステッチ線を参考にしてください)



17 ひも通し口をアイロンの線で折り、ピンでとめます。



18 コバステッチで縫いとめます。(始めと終わりは返し縫い)

★ポイント
コバステッチ=布の端から1mm~3mmぐらい入ったところにかけるステッチのこと。「コバ」と呼ぶこともあります。



19 市販のひも通しを使ってひもを通し、先を結びます。



20 反対側からも同様にひもを通します。



21 「スピードひも通し」は柔軟性があり簡単にひもを通すことができます。



22 仕上げアイロンをかけます。

★ポイント
軽くスチームをあてながらかけると縫い目が落ち着きます。



23 ひもの先をほくして完成です。



巾着M・Lサイズは別売となります。
Mサイズ：底2重仕立て両引きタイプ
Lサイズ：布地の耳を利用した簡単にできる片引きタイプ
※S・M・Lはそれぞれデザインや仕様が異なります。